

八学大生が選挙立会人に

1票の重みかみしめ



期日前投票の立会人を務めた（右から）尾崎
茉綯さんと畑中美玖さん＝6日、八戸市庁

20日投開票の参院選青森選挙区で、選挙権を得たばかりの八戸学院大の学生が6日、八戸市庁の期日前投票所で選挙立会人を務めた。

訪れる市民を見つめながら、自らも有権者として1票の重みをかみしめた。立会人になったのは、共に健康医療学部1年の尾崎

茉綯さん（18）と畑中美玖さん（18）。市選管が立会人に学生を起用するのは2023年青森県知事選以来で、2人は学内で募集しているのを知り申し込んだという。

2人は来場者の投票を見守り、市民に投票所内の動線を案内するなどした。尾崎さんは「コメ問題や海外情勢など社会が大きく動く中、選挙の雰囲気確かめてみたいと思った」、畑中さんは「今まで選挙にあまり興味はなかったが、日本を良くする政治ができる人に託してみたい」とそれぞれ手応えを語った。

市庁では5日も八学大の学生2人が立会人を務めた。

（藤野武）